

名古屋城木造復元の市民討論会

## 差別発言検証委 30日初会合

名古屋城の木造復元事業のバリアフリーを巡る市民討論会で一部の市民から障害者への差別発言があった問題で、名古屋市は十八日、人権の観点から討論会を検証する委員会の初会合を三十日に開くと発表した。

検証委員会は浅田知恵・

を求めたのに対し、導入に反対する一部の参加者が「ずつずつしい」「おまえが我慢せえ」などと発言。河村たかし市長ら市幹部も出席していたが、発言を制止しなかった。河村市長は七月二十七日、車いす利用者に謝罪した。(菊谷隆文)

愛知教育大教授、小林直三・名古屋市立大教授、田中伸明弁護士の学識経験者のほか、杉野みどり副市長と市の担当局長三人の計七人で構成される。田中弁護士は視覚障害者。

六月三日の市民討論会では、車いす利用者が「史実に忠実な復元には反対しないが、みんなが同じ階層に登れるようにすべきだ」と昇降機の上層階までの設置